

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：9/2～9/6

### ・ 9/2(月)

香港情勢、韓国政情と週刊ポスト、内閣改造、米中貿易摩擦、泉佐野市とふるさと納税などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。また、香港情勢および韓国政情と週刊ポストについては検証者の所感を記しました。

### ・ 9/3(火)

林鄭月娥行政長官の苦悩、消費税が 10%に、岩手県大槌町副町長にあおり運転の疑い、内閣改造などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。また、林鄭月娥行政長官の苦悩、消費税が 10%におよび内閣改造については検証者の所感を記しました。

### ・ 9/4(水)

香港政府が逃亡犯条例改正案を撤回、日露首脳会談、イギリス議会、内閣改造などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。また、イギリス議会については検証者の所感を記しました。

### ・ 9/5(木)

西川社長に不正疑惑、三原じゅん子議員初入閣、香港問題、EU 離脱問題、日ロ首脳会談などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、香港問題については他の放送日との比較が必要と考えられるものでした。

### ・ 9/6(金)

韓国大統領側近の疑惑追及、メルケル独首相「香港市民の自由保障を」、待機児童の総数過去最少などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年9月2日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：香港情勢、韓国政情と週刊ポスト、内閣改造、米中貿易摩擦、泉佐野市とふるさと納税		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鹿児島県出水市で4歳女児が虐待死</li> <li>・ 東京目黒区の虐待死事件母親の裁判が明日始まる</li> <li>・ 香港情勢</li> <li>・ 韓国政情と週刊ポスト</li> <li>・ 5G でスポーツ観戦に変化</li> <li>・ 内閣改造</li> <li>・ 新井浩文被告の初公判</li> <li>・ 米中貿易摩擦</li> <li>・ 茨城県殺傷事件でベトナム人実習生を逮捕</li> <li>・ 泉佐野市とふるさと納税</li> <li>・ スポーツ報道</li> <li>・ 【異論反論】 #広がる“脱スーツ”</li> <li>・ 天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香港情勢：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>スタジオでの小川キャスターの「続いては抗議活動が激しさを増す香港です。」というコメントに対し山本キャスターが「新学期が始まった今日、授業をボイコットして抗議集会を開いたのは中学生たちです。10代前半の若い世代も次々と声を上げ始めています。」と返す形で導入がなされ、香港情勢について以下に朱記したようにVTRで取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「見渡す限り真っ黒に埋め尽くされているのは大学の構内です。SNSを通じてつながった香港の大学生たち数千人が一箇所に集結。逃亡犯条例改正案をめぐる政府や警察の対応などに抗議の声を上げました。」</p> <p>集会に参加した大学生 A「今の香港は私が小さいときの香港と比べて自由が殆ど無いです。」</p> <p>集会に参加した大学生 B「香港のことを心配だから自分の力で何ができるのか全力でできることをやろうと思っています。」</p> <p>ナレ「大学生たちは今日から2週間、授業のボイコットを決めていますがこうした動きは大学生だけではありません。」</p> <p>群衆「香港人頑張れ！香港人頑張れ！」</p> <p>ナレ「香港島中心部の講演に集まったのは十代の中高生たち。」</p> <p>"森岡紀人（報告）「雨が降る中、行われている集会なんです。こちらの人たちは制服を着ています。みなさん、今日の授業をボイコットした間ことです。」</p>		

ナレ「新学期がスタートした今日、数百人の中高生が授業をボイコットして集まりました。」

参加した生徒 A「政府に私達の要求に真正面から応えてほしいのです。警察までもが無差別に市民を攻撃するなんてとんでもない、とても受け入れられない。」

参加した生徒 B(逃亡犯条例改正で) 中国に送還されたら何が起きるかみなわかりきったことです。自分の将来に不安を感じ、ここに来たのです。」

参加した生徒 C「政府も警察もメチャクチャなことをやっている、もうこれ以上我慢できない。私たち中学生はもう我慢の限界です。」

ナレ「およそ 100 の中学校では今後毎週月曜日に授業のボイコットが計画されています。学生のボイコットにまで発展した抗議活動。」 "

"周庭さん「3ヶ月かわたしたちはいろんな手段を使いました。わたしたちにとっていろんな手段を試してみないとわからない。」

ナレ「こう話すのは民主の女神とも呼ばれ抗議活動を牽引する周庭さんです。今夜、小川キャスターが話を聞きました。」

周庭さん「問題を解決する気がなくて、いろんな手段で香港市民を鎮圧、弾圧するようになりましたので、香港人としてはすごく悲しい、そして怒っています。」 "

"ナレ「先週金曜、香港警察は周さんらを含む民主派団体のメンバーらを逮捕、さらに翌日、31日に控えた民主派団体によるデモを認めませんでした。圧力を強める警察について周さんはこう話します。」

周庭「今、香港警察はやり放題になってしまいましたね、政権側の弾圧が強まってくると、わたしたち香港人からの反発や反抗もこれから大きくなると思いますので、やっぱり逆効果だと思います。」 "

"ナレ「事実、警察の強硬策がかえって若者の反発を招く結果となりました。」

森岡紀人(報告)「警察本部近くなんですけれども、今、デモ隊がバリケードに火をつけました。」

ナレ「31日、香港島の中心部ではたくさんの市民が集まりデモを強行。警官隊と激しく衝突しました。混乱に拍車をかけたのがこちらの動画です、カメラの前を走り去る警官たち、駅構内にいた人を複数で取り押さえます。怒号が飛び交う構内。車内で闘う姿も見られます。撮影した人に話を聞くことができました。」

梁柏堅さん(動画を撮影した)「彼らは何もいわずに殴っていました、彼らはなんの言葉も出さずに作業だと思ってやっただけです。」 "

"ナレ「長引く抗議デモは現地にある日本の企業にも影響を与えているといいます、旅行会社や飲食店などが加盟する団体では。」

柳生政一(香港日本人商工会議所事務局長)「お客さんが怖がってこないですね。なんで、8月はもう、今までで最悪ですね、先が見えな非常にどうしようもない時が3ヶ月も流れちゃいました、不安ですね。」 "

ナレ「現地では香港政府がネットや集会などを制限できる緊急状況規則条例を発動する可能性も報じられています、これに対して周さんは。」

周庭さん「香港人はここまでのいろんなことを経験して今まだ一生懸命戦っているのです、だから、どんな弾圧が来てもやはり香港人は諦めないと思います。」

ナレ「香港当局は中国建国70年の来月1日までに事態を沈静化したい思惑がありますが、出口はまだまだ見える気配はありません。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「周さんにまたお話をお伺いすることができたのですけれども、周さんの逮捕は驚きを持って報じられましたし、我々も報じましたが、実は彼女によりますと雨傘運動のときも含めて抗議活動で逮捕されるのはこれで3回目ということなんですね、逮捕にも動じず落ち着き払った佇まいで、改めてその意志、香港を守るという揺るがない意思を語ってくださったんですけれども、ただ、怪我や失明をしたデモ参加者に自らを重ねていつか私もこうなるのかなというふうに自分の思いを吐露してくださってしまっていて、命の危険への恐怖を今日も語っていた、そういった姿が印象的でしたね。」

星浩「そうですね、まあ連日その衝突の様子なんかが報じられているんですけど、そもそも何を要求しているのか、っていうのはこの五大要求というやつ案ですよ、逃亡犯条例の改正の撤回を求めているのは当然なんですけど、警察の暴力行為の検証とか普通選挙の実現とか至極まっとうな要求なわけですよ、で中国政府はどうも普通選挙の実現というところはかなり神経を尖らせているというようですね。」

小川彩佳「うーん、そして香港政府や警察はさらに力で抑え込もうというような動きを強めているような印象を受けるのですけれども、この中で香港政府がネットや集会、報道などを制限できる緊急状況規則条例、これを発動する可能性が出てきている。」

"星浩「この条例はですね、まあ言ってみれば事実上の戒厳令のようなもので集会とか報道を規制できるわけですよ、仮にこれを発動されると学生はもう強く反発するでしょうし、中国の意を受けた香港当局も相当抑え込みにかかってくるでしょうから、さらに対立がエスカレートする可能性がありますね。」

小川彩佳「ますます混沌とすると、はい。」

このトピックに当てられた時間は 491 秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

・韓国政情と週刊ポスト：結論→特に問題なし

小川キャスターの「続いてはこちらです、午後3時半に始まりました会見は休憩を挟んで、こちら、現在の映像なんですけれども今も続いています、8時間が経とうとしていますね。疑惑を指摘されている韓国ムン・ジェイン大統領の側近が緊急会見し、謝罪に追い込まれました。」というスタジオでのコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"曹国「国民の皆様、申し訳ありません、過大な期待を頂いたのに大きく失望させてしまった。」

ナレ「今日、夕方、緊急会見を開いて謝罪したのはムン・ジェイン大統領の側近チョグク氏、次の報奨に指名されているため、本来であれば今日は国会で適性を審査する人事聴聞会が開かれるはずでしたが、娘の不正入学などの疑惑を追求する野党の反対などで中止となったのです、その疑惑についてチョ氏は。」

チョ氏「自身の周辺に厳格でなかった点を深く反省して謝罪申し上げます。私の子どもたちを攻撃することをやめてほしい、まず私に聞いてください、なにか責任を取るようなことがあれば私に聞いてください。」

ナレ「自身の責任に言及、その上で注目された去就を巡っては改めて、法相への就任に意欲を示しました。世論調査ではチョ氏の法相就任に反対が半数を超える中、ムン大統領がこのまま任命を強行するのか断念するのか今後の焦点、何れにせよ側近の疑惑騒動によってムン政権は確実に体力を奪われつつあります、一方そんな韓国のお家騒動を知り目に勢いづくのが日本での韓国バッシング。」

"ナレ「今日発売された小学館の週刊ポストにはこんな見出しが踊りました。やっかいな隣人にサヨウナラ、韓国

なんていない。嫌韓より断韓などめいいうって、韓国と国交を断絶しても困るのは日本よりも韓国だとする論を展開。さらに、」

音声「韓国人という病理、十人に一人は治療が必要。」

ナレ「この記事に作家らが相次いで懸念を表明しました。」

"ナレ「週刊ポストでエッセイを連載していた深沢潮さんは」

深沢潮 (Twitter)「差別扇動であることが見過ごせず、意向は抜けさせていただきます。」

ナレ「また、作家の柳美里さんは」

柳美里 (Twitter)「日本で暮らす韓国朝鮮籍の子どもたち、日本国籍を有しているが朝鮮半島にルーツを持つ人達が何を感じるか想像してみなかったのだろうか。」

"ナレ「こうした批判を受け、小学館は今夜謝罪のコメントをウェブ上に出しています。」

小学館『週刊ポスト』編集部「多くのご意見、ご批判をいただきました。誤解を広めかねず配慮にかけました。」

"ナレ「今回の記事を受け、今後小学館での仕事はしない、と表明した思想家の内田樹さんは。」

内田樹「俗情におもねってですね、あの非常にレベルの低い議論をしている隣国と断交しようという話をしているわけですからね、どれくらいの覚悟があってやっているのかということですけども、謝罪をするようなことだったら始めからやるなってことですよ、普通の市民感情だったら別に隣国と断交しようなんてことはでないわけでしょ、絶対に日常生活の中では、誰かが吹き込まないとね。限られた情報からなにかこう盛り上がった時にそれを制するっていうのが本来であればメディアの役割でしょ。」

また、番組のクロージングでは小川キャスターの「さて、午後三時に始まりました韓国ムンジェイン大統領の側近のチョグク氏の会見ですが今もまだ続いているようでこちら現在の映像です。」というコメントに対し星キャスターが「3時半から始まって8時間以上続いて、途中一時間くらい休憩があったみたいですけども、評価はですね真っ二つに割れているみたいですね、ですから韓国の政局もこれからかなり混乱が続くという始まりですね。」と応える場面がみられた。

このトピックに当てられた時間は 278 秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

・内閣改造：結論→特に問題なし

山本キャスターが「安倍総理は内閣改造を来週行う考えを明らかにしました。」とスタジオで語り、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"安倍総理「来週、内閣改造を行いたいと、考えております。与党は老壮青、人材の宝庫でありますから、よく検討を行い、安定と挑戦の居力な布陣を整えたいと考えております。」

ナレ「今回の内閣改造で安定と挑戦を掲げる安倍総理、安定した政権運営を支えてきた菅官房長官と麻生副総理兼財務大臣は留任の見通しです。一方、党の役員人事を巡っては二階幹事長の続投に党内から批判的な声が上がっていて、処遇が注目されています。また、挑戦の人事では小泉進次郎厚生労働部会長の初入閣があるかどうか焦点となっています。」

このトピックに当てられた時間は 61 秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

- ・米中貿易摩擦：結論→特に問題なし

米中貿易摩擦についてナレーションにより「速報です、中国商務省はアメリカ政府が中国に対し第四弾の追加関税を発動したことについて WTO 世界貿易機関に提訴したことを発表しました。そのうえで両国の首脳が大阪で会談した際の共通認識に違反していて強烈な不満を持ち断固反対するとしています。」と速報が伝えられた。このトピックに当てられた時間は 25 秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

- ・泉佐野市とふるさと納税：結論→特に問題なし

泉佐野市とふるさと納税を巡って、ナレーションで「大阪府泉佐野市がふるさと納税の新制度の対象から除外された問題、国地方係争処理委員会は新制度が適用される前に泉佐野市が高額な返礼品などを制限する国の通知に従わなかったことなどを理由に国が泉佐野市を除外したのは不適切で法律違反の恐れがあるとして総務大臣に再検討するよう勧告することを決めました。石田総務大臣は内容をよく精査の上、対応について検討を行ってまいりますとコメントしています。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・香港情勢

元々、逃亡犯条例の改正案とは香港の容疑者を中国本土に引き渡せるようにするものであるが、それに対して香港市民が激しく反対するという事は、それだけ一国二制度下での香港と中国というのは私達が外から見ている以上に実際はお互いに異質な社会になっているのではないかと、という印象を受ける。

しかし、この改正案はそもそもどういう経緯で持ち上がったものなのだろうか。連日のデモ報道ばかりが目立つが、そうしたそもそもの経緯についても知りたいと感じた。

- ・韓国政情と週刊ポスト

週刊ポストについて柳美里さんが Twitter で「日本で暮らす韓国朝鮮籍の子どもたち、日本国籍を有しているが朝鮮半島にルーツを持つ人達が何を感じるか想像してみなかったのだろうか。」と呟いていたが、「日本死ね」が流行語になるような社会にそういうのを求めるといってもやや期待し過ぎなのではという感じがする。日本で暮らす日本国籍を有している人や、日本にルーツを持つ人達の間でも「日本死ね」が特に違和感なく流行語になるような社会なのだから、韓国朝鮮籍や朝鮮半島にルーツを持つ人も別段何も感じないだろうという想像が働くのも無理はないことだと思う。

内田樹さんが「俗情におもねってですね、あの非常にレベルの低い議論をしている隣国と断交しようという話をしているわけですからね、どれくらいの覚悟があってやっているのかということですけども、謝罪をするようなことだったら始めからやるなってことですよ、普通の市民感情だったら別に隣国と断交しようなんてことはでてこないわけでしょ、絶対に日常生活の中では、誰かが吹き込まないとね。限られた情報からなにかこう盛

## NEWS23 週刊報告 詳細版

り上がった時にそれを制するっていうのが本来であればメディアの役割でしょ。」と応えていたが、「謝罪をするくらいなら始めからやるな」というのは全くその通りである。また、「普通の市民感情だったら別に隣国と断交しようなんてことはでてこないわけでしょ、絶対に日常生活の中では、誰かが吹き込まないとね。」というのもそのとおりであると思う。しかし、そもそも日本のように四方を海に囲まれ度の国とも国境を接していないような国で生きている人たち間で「隣国」という概念が成立することも、不自然な話で普通の市民感情や日常生活と言うよりは、それこそ誰かに吹き込まれもしない限り、出てこないような感覚なのではないだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年9月3日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：林鄭月娥行政長官の苦悩、消費税が10%に、岩手県大槌町副町長にあおり運転の疑い 内閣改造		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【速報】ゲリラ雷雨により横浜市南部で避難勧告</li> <li>・目黒虐待死事件母親の初公判</li> <li>・林鄭月娥行政長官の苦悩</li> <li>・消費税が10%に</li> <li>・白鵬が日本国籍を取得</li> <li>・岩手県大槌町副町長にあおり運転の疑い</li> <li>・鹿児島出水市虐待死事件</li> <li>・昏睡強盗で明治第四年の男を逮捕</li> <li>・貴ノ富士の暴行事件</li> <li>・内閣改造</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#親方は日本人</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林鄭月娥行政長官の苦悩： <ul style="list-style-type: none"> <li>小川キャスターの「続いては連日お伝えしているホンコン情勢で、今日注目の動きがありました。こちら香港政府のトップ、林鄭月娥行政長官です。一連の混乱を巡って責任を問う声が高まる林鄭氏のものとされる音声が出たんですね。記録された音声から見てきたのは香港市民とそして中国政府の間で板挟みになるトップの苦しい立場でした。」というスタジオでのコメントのあとに以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</li> <li>林鄭月娥（音声）「行政長官が香港にこのような大きな混乱を引き起こしたことは許されることではない。許されることではないのです。もし私に選択肢があるのなら真っ先にやめたい。深く謝罪して辞任したい。」</li> <li>ナレ「深く謝罪して辞任したい。こう漏らしたのは香港政府のトップ、林鄭月娥行政長官です、先週行われた実業家グループとの非公開の会合での音声をロイター通信が報じました。」</li> <li>"デモ「撤回！撤回！」</li> <li>ナレ「いわゆる逃亡犯条例の改正案をめぐり6月に始まった香港市民による抗議活動、三ヶ月近くが経つ今も収束の気配が見えず、昨日からは中高生や大学生が授業をボイコットする事態にも発展しています。その批判の矢面に立ち続けてきた林鄭長官が中国政府とホンコン市民との間で苦しい立場に置かれていることが浮き彫りとなりました。」"</li> </ul> </li> </ul>		



"林鄭月娥 (2017年3月)「しっかり一国二制度を実施します。」

ナレ「一昨年香港政府のトップに就任した林鄭氏、2014年若者らが選挙制度の民主化を求めた雨傘運動の際にはトップに告ぐ立場でしたがその若者に一歩も譲歩しない姿勢が中国政府の高い評価を得たとされています、いわば中国政府のお墨付きを得て、親中派が多数を占める選挙委員の投票で圧勝しましたが、その方法は民意を反映したものとは言えず、市民から反発を生みました、流出した音声ではそうした自らの置かれた立場について苦しい胸の内を明かす場面も。」

林鄭月娥 (音声)「中国政府と香港市民という2つの主人に仕える行政長官にできることは非常に限られている。」

"ナレ「今朝、定例会見に望んだ林鄭長官は。」

林鄭月娥「明らかに内々の話題を録音され、メディアに渡された。許容できない。」"

"ナレ「音声は自らの発言だと認めた林鄭長官。中国寄りの姿勢を強める一方で香港市民からは厳しく批判されてきました。」

デモ「林鄭やめろ！」

ナレ「逃亡犯条例をめぐるデモでは市民から辞任を求められ会見では中国の言いなりではないかと追求されたこともありました。」

記者 (先月13日)「法案を撤回しないようあなたは北京から手足を縛られているのか？」

林鄭月娥 (先月13日)「わたしたちはこの危機を乗り越えることがまだできます。」

記者 (先月13日)「あなたは法案を撤回する権限があるのか？」

司会者 (先月13日)「もうその質問には応えています。」

記者 (先月13日)「質問に答えていません。」"

ナレ「一年前、林鄭長官の支持率は56%ありましたが、逃亡犯条例をめぐる問題で急落し、先月は28%にまで下がっています、行政長官をやめたい、こう漏らした会合では板挟みゆえの苦悩も打ち明けていました。」

"林鄭月娥 (音声)「彼ら (中国) は時間がかかっても構わないと思っています。ですから短期的な解決策はありません。苦しむのは香港です。」

ナレ「プライベートでも悩みは深いようです。」

林鄭月娥 (音声)「最近はお出かけののも難しい、ショッピングモールにも美容院にもいけません、ソーシャルメディアなどで私の居場所が拡散されてしまう。」"

"ナレ「選べるならやめたい、と漏らした林鄭長官ですが、今日の会見では。」

林鄭月娥「私には政府をリードしていく自信があります。」

ナレ「こう話し、辞意を否定、二人の主人に仕えているとの言葉が示すように重要な決定ができないことをにじませました。一方、今日の中国政府、林鄭長官について全力で支持すると強調しました。」

国务院香港マカオ事務弁公室報道官「中央 (中国政府) は行政長官と特別行政区政府が法律に基づきあらゆる必要な手段を使って暴力を取りやめ動乱を治めることを全力に支持する。」

ナレ「政府トップが市民と中国政府の板挟みになっていることが浮き彫りになった香港。混乱はおさまる心配がありません。」"

このトピックに当てられた時間は365秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

・消費税が 10%に：

スタジオで小川キャスターの「来月 1 日から消費税が 10%になります、」というコメントに山本キャスターが「軽減税率やポイント還元、複雑な制度で混乱も心配されますが、私達の暮らしはどう変わるのでしょうか。」と応えた後に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「都内の家電量販店、平日にも関わらず多くの客で賑わっていました。」

客「今日、洗濯機を買いに来ました、ドラム式の 8%のうちに買いたいなと思って。」

ナレ「増税前の駆け込み需要です、こちらの二人が購入したのは」

客「洗濯機と冷蔵庫と炊飯器と掃除機、予算内で収まりました。増税後だったら予算オーバーするということですね、2%はでかい」 "

"ナレ「消費税 10%まで一ヶ月を切る中、今買っておきたいものを街で聞きました。」

街の声 A「それこそ婚約指輪をみていて、増税前に、ちょっとでも安く買いたい。」

街の声 B「新車が欲しくて値上がりする前に買おうってなりますね、一昨日くらいに発注して上る前に、」

街の声 C「アップルウォッチ、誕生日とかに買えたらいいなと思います。」

インタビュアー「誕生日は 9 月？」

街の声 C「10 月の前半なんですけど前倒しで買ってもらえたらいいな。」

街の声 D「袴は早めに決めちゃおうと思って決めました、卒業式のお店の方も増税前に決めるんだよ、って煽っていました。」

街の声 E「可能であれば母の墓石とか帰るといいなと思って。」

ナレ「そんな駆け込み需要を取り込もうと生活雑貨を扱う良品計画は先週うから大規模な値下げに踏み切りました。」

大西克史（良品計画執行役員）「むしろこの増税というタイミングっていうのをチャンスだと捉えておりまして良い機会だなというふうに思っております。」 "

"ナレ「一方、今回の増税で混乱が起きそうなのが初めて導入される軽減税率 t の扱いで s、これは負担軽減のため、食料飲料などに限って税率を据え置くもの、ただややこしいのが持ち帰れば 8%で済みますが、店で食べれば適用外となり 10%となる点です。昔ながらの風情が残るこちらの商店街、レジを使わない店もまだあります、各店舗では対応に苦慮しています。」

インタビュアー「8%や 10%になると」

シューマン店店主「もうわからない、とても、追いついていけません、昭和の人間は」

ナレ「うどんや甘味などの軽食を扱うこちらの飲食店。持ち帰り店内飲食があり 8%と 10%に分かれます、頭を悩ませるのは一度の会計で両方利用する客がいる

ことです、」

大久保論（梅むら店主）店頭販売のものを店内でも食べれます、なのでちょっと暑いから水ようかん食べたいってなったら中で食べるじゃないですか、それで値段が変わるというのはないですよ。ただ店頭から持ってきただけなんだから。」

ナレ「そこで店は店内で食事する客の増税分を店側で負担する方針です。ただ法律に則って会計処理をするために 10%用と 8%用の 2 つのレジを導入しました。」

インタビュアー「業務の負担というのは」

大久保論「は増えると思いますよ、確実に増えますよ、うちの店は今までと変わらないんだなということで足が遠のかないようにという感じじゃないですか。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「さあ、来月からの消費増税ですけれどもまだまだわからないところが多いので山本さんに整理していただきます。」

山本恵里伽「はい、来月から消費税は原則 10%に上がるんですけれども、こういった食料や飲料などは軽減税率が適用されて 8%に据え置かれるのです、ただ、わかりにくいものもいくつかあります。例えばこちらのお醤油と味噌なんですけれどもお醤油は軽減税率が適用されて 8%なのに対してみりんは 10%なんです、どうしてかといいますとみりんには 1%以上のアルコール分が含まれていますので、こちらお酒に分類されるんですね、ということで 10%と同じ調味料でも」

小川彩佳「ええ～、みりんをね、ガブガブお酒として飲む人はいないと思うんですけれどもお酒類なんですね。」

山本恵里伽「このように同じようなものなのに税率が違うというものがほかにもあります。例えばお水です、ミネラルウォーターは飲料ということで軽減税率が適用されて 8%、ただ、同じお水であるけれども水道料金に課せられる税率は 10%なんです、なぜかと言うと飲む目的だけでなく洗濯であったり掃除といった生活用水としても使われるということから水道料金は 10%ということなんですね。」

小川彩佳「まあねえ、でも日本は水道水を飲めずし普通に、ミネラルウォーターの方が高級なのかなっていうイメージはありますけどね、」

山本恵里伽「ありますけどね、さらにほかにもあります、このおまけ付きのお菓子、ビックリマンチョコ、懐かしいなという方いらっしゃると思いますがこちらは軽減税率が適用されて 8%、ただ野球選手のカードが付いたプロ野球チップスは 10%なんです、なぜかといいますと、この軽減税率が適用されるにはいくつか条件がありまして、商品価格のうち食品の割合が 3 分の 2 以上でなければ 8%にならないんですね、ということからプロ野球チップスは 10%で、ビックリマンチョコは 8%、」

小川彩佳「おまけの部分が高すぎる場合は、税率が 10%に、お子さんにとってはチョコカードは十分高級。」

山本恵里伽「それを目的に買ってる子もいるかも知れないですし。」

小川彩佳「いちいち文句をつけるのも何なんですけれども。」

山本恵里伽「同じおまけ付きお菓子であっても税率に変化があるということです。まあちょっと混乱を呼びそうではありますけれども既に駆け込み消費の動きというものが始めているようです、皆さんどんなものを購入しているんでしょうか。」

このやり取りを受けてさらに以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"街の声 F「定期券」

街の声 F「バックはほしいかもしれない、」

街の声 G「うーん、おむつとかおしりふきとか値段ちょっとでも高くなるとチリツモで痛いですよ。」

街の声 H「トイレットペーパーとかティッシュとか、半年分くらいは一気に行くんじゃないですかね」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"山本恵里伽「うーん、色んなものを検討されている。」

小川彩佳「駆け込みで買うものないかなあと私も結構思いを巡らせていましたけれども。」

山本恵里伽「あっ、本当ですか、実際に今何をを買うのがお得なのかファイナンシャルプランナーの山口さんに伺いました、例えばトイレットペーパー、ブランド品、ランドセルとありますが、トイレットペーパーは増税前に購入したとしてもそこまでお得ではないというのです、なぜかといいますと増税分は数円程度ですしセール我也会安くなる機会も多いので買いためには向いていないのではないかと、ということでした。そしてブランド品、検討している方、多いと思うんですが三角ということの場合によるということでした。なぜでしょうか。増税を言い訳にしているというのがありますが、まあ必要ないものを購入している可能性があるんじゃないですか、ちょっと立ち止まって考え直してみたいかがですか、ということですね。」

小川彩佳「うーん立ち止まって考えなきゃいけないと、まあ確かに増税前に買うっていうことを理由にしてどうしても買わなきゃいけないものではないのに勝ってしまうということもありますからね、」

山本恵里伽「必要ない場合ももしかしたらあるかもしれませんよ、と。ではこのランドセル、丸ということで増税前に購入したほうがお得というのです、なぜかといいますと、こうったランドセルと言った場合は値崩れしない、つまりセールになりにくい商品なので増税前、税率が低いうちに買って置くほうがお得なのではないでしょうか、ということでした。」

小川彩佳「まあ、絶対買わなければならない。」

山本恵里伽「必要なものですね。来年春に入学するお子さんがいらっしゃるという方は今が買いどきかもしれません。さらに今回の増税をさらにさらに複雑にしているのがこちらです、ポイント還元ですね、来年6月まで実施されるということなんですけれども、電子マネーなどでキャッシュレス決済などをするとポイント還元を受けられるケースがあるんですが、中小の店舗ですと5%、コンビニなどのフランチャイズ店だと2%大手スーパーや百貨店は還元なしということでここでも3つのケースもあるんです。」

"小川彩佳「これね、還元されるポイントは一律じゃないというのがかなり複雑にさせていますけれども、二重に複雑な制度が重なっているというところが星さんありますねえ。」

星浩「そうですね、消費税30年前から始まって初めて複数税率になったわけなんです、軽減税率の導入でね、それによってどこかで線を引かなくちゃいけないのでこういう複雑になっているというのとさらにそのキャッシュレスと景気対策でポイント還元というのがあって余計に複雑さを増しているという状況ですよ。」

小川彩佳「うー、混乱してしまいますけれども、さらにその消費増税による景気の原則というのも心配されますし。」

星浩「そうですね、3%で始まったときとか8%に上がったときは意外と景気が良いときだったものですからそれなりに良かったんですけども今回その景気がどうも米中摩擦があって危ないという状況ですよ、でそれから政権もそれなりに気にしてそのポイント還元で対応しようということなんですけれども、」

小川彩佳「うーん、それがあってのポイント還元なんですよ。」

星浩「ただその今の景気低迷の原因はね、将来不安、社会保障などの将来不安などがあって消費が伸びないというところにあるんですよ、ですから逆に消費増税で消費がさらに伸びずに景気全体の足を引っ張るという可能性が出てきていますよね。」

小川彩佳「うーん、心配なところが山積みとなっていますよね。」

このトピックに当てられた時間は657秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

・岩手県大槌町副町長にあおり運転の疑い：結論→特に問題なし

スタジオで小川キャスターが「今社会問題となっているあおり運転ですが、今度はあろうことか、副町長にその疑いの目が向けられています、それがこちら。岩手県大槌町の澤館副町長なんですけど今日、本人が釈明会見を開きました。」とコメントした後以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「大槌町によりますと先月 1 日、町役場を訪れた町内の男性から公用車にあおり運転をされたと訴えがありました。その公用車を運転していたのは澤館和彦副町長でした、男性は 7 月 31 日午後九時過ぎ遠野市内の釜石自動車道であおり運転をされたと主張しています。」

あおり運転されたと訴えた男性「こう、蛇行を繰り返し白線をはみ出るくらいのはみ出しをしてずっとハイビームで車間距離も一台分くらいしか、攻めて、また後退しての繰り返し、威嚇てしか感じないですね。」

ナレ「これを受けて今日、街は会見を開き澤館副町長が自ら説明しました。」

記者「白線をまたぐような蛇行運転をしていたか」

澤館副町長「そういった覚えはありません。」

記者「16 キロぐらいしていたという主張ですが。」

澤館副町長「ないと思っています、それってよっぽどですよ。」

記者「ご自身ではそういう危険な運転は一切されていない。」

澤館副町長「していないと思っています。」

ナレ「澤館副町長は公用車が不慣れな外国車だった為ハイビームのままになっていたと釈明、あおり運転については否定しました。また、先月 2 日には謝罪に出向きましたがその際、相手の男性に暴力を振るわれたとして警察に被害届を出したということです。」

このトピックに当てられた時間は 140 秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

・内閣改造：結論→特に問題なし

スタジオで小川キャスターが「今日、安倍総理は内閣改造と自民党の役員人事について来週 11 日に行う考えを明らかにしました。」と語った後以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「今朝、安倍総理は塔の幹部らを前に人事を刷新し、安定と挑戦の強力な布陣を敷きたいとして 11 日に内閣改造と、党役員人事を行うことを表明しました、今回の人事で最も注目されているのは二階幹事長の処遇です、二階氏を巡ってはかつての野党議員を自らの派閥に取り込む手法に党内から批判の声も上がっています、一方麻生副総理兼財務大臣、そして菅官房長官は留任の見通しとなったほか、茂木経済再生担当大臣を引き続き重要閣僚で起用する案も浮上しています、さらに、」

小泉進次郎（自民党厚生労働部会長）「これからどんな立場であっても自分のできることを最大限やっていきたいと思っています。」

ナレ「先月結婚を公表した小泉厚生労働部会長の処遇にも注目が集まっています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返し上げられた。

小川彩佳「11 日ということになりますけれども注目点はどこになりますでしょうか。」

星浩「まああの今回の改造ですもんねポスト安倍に向けた動きが出てくるんじゃないかという見方がありまして

ね、そういう点では例えば二階幹事長のあとどうするかですよね。二階幹事長が仮にその副総裁ということになってその後任にその岸田さんになるようだと岸田さんはポスト安倍に向けてちょっとリードだなということになるでしょうし、岸田さんちょっと頼りないので、ええ森山国対委員長、手堅い森山さんに頼むかと言うまあ動きまるそうです。一方菅さんもこのところポスト安倍の一人と目されているわけですね。さらに外務大臣が誰になるのかということで顔ですからね、まあ茂木さんがやる気満々ということですからけれども加藤さん、加藤総務会長を押す動きもあるということで、この二人がですねポスト安倍に食い込めるかどうかというのも一つ見どころかもしれませんね。」

小川彩佳「うーん、外務大臣ポストというのは総務大臣のポストと直結してくるということですね、それから注目されているのは小泉進次郎さん入閣するかどうかということですからね。」

星浩「まあ、小泉さん、2回とも総裁選挙で石破さんに投票していますので、安倍さんがそのへんをどう評価するか、それから小泉さん等で社会保障に取り組んでいますけれども厚生労働大臣っていう線もあるんですが、まあ総理周辺の反応では今、厚生労働大臣は非常にその複雑で難しい問題を抱えていますのでね、ちょっと小泉さんにはまだ荷が重いんじゃないかというのが今の評価ですね。」

小川彩佳「個人的には女性閣僚がどれくらい入閣するかと言うのが気になりますね。」

星浩「そうですね、そのへんも注目点だと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 175 秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ 林鄭月娥行政長官の苦悩

VTR 中で林鄭月娥行政長官について「親中派が多数を占める選挙委員の投票で圧勝しましたが、その方法は民意を反映したものとは言えず、市民から反発を生みました。」とあったが、そもそも香港の行政長官はどのように選ばれる制度になっているのだろうか。それによっては林鄭月娥行政長官の「二人の主人」という言葉の意味あいも大きく変わってくるのではないだろうか。

・ 消費税が 10%に

スタジオでは軽減税率やポイント還元制度の複雑さが指摘されていたが、そんなことは今になって分かったことではなく、消費増税に伴ってこれらが導入されるという議論が出た時点でわかりきっていたことであって、その時の議論喚起が不十分だったのではないだろうか。また、軽減税率というのは経済学者からは反対の声が根強いものであるのみならず、税の三大原則である「簡素・中立・公平」のうち「簡素」と「中立」に反しておりさりとて「公平」を担保できているともいい難いものであるが、そうした軽減税率の問題点について真剣に取り上げていたのだろうか。

また星キャスターは「今の景気低迷の原因はね、将来不安、社会保障などの将来不安などがあって消費が伸びないというところにある」とコメントしていたが、これは一体どの年代層の話をしているのだろうか。

確かにある程度老後が見えてきた年代にとっては将来不安だとか社会保障が心もとないから消費が伸びないというのは理解できなくもないが、働き盛りの若い世代が今の時点で老後が不安だという理由で消費を抑えるというのはどうも腑に落ちない。それよりも、所得税や社会保険料などが給料から天引きされることで手取りを大きく減らされている、ということのほうが消費を抑制しているのではないだろうか。

- ・内閣改造

スタジオで星キャスターは当たり前のように「重要閣僚」という言葉を用いていたが、これは主務大臣が重要閣僚と位置づけられない官庁の職員に対して非常に失礼な物言いではないだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年9月4日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：香港政府が逃亡犯条例改正案を撤回、日露首脳会談、イギリス議会、内閣改造		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港政府が逃亡犯条例改正案を撤回</li> <li>・日露首脳会談</li> <li>・イギリス議会</li> <li>・ジャニーさんお別れの会</li> <li>・目黒虐待死事件の公判</li> <li>・内閣改造</li> <li>・新海誠監督インタビュー</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#皆勤賞</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港政府が逃亡犯条例改正案を撤回：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターが「香港情勢で動きがありました、香港政府のトップが今夜、逃亡犯条例の改正案を正式に撤回することを表明しました。民主派団体などの要求を一部受け入れたという形になりますけれども、おそすぎるという声も上がってしまっていて、抗議活動はまだ収まりそうにありません。」とコメントをし、それに以下に朱記したVTRが続いた。</p> <p>"林鄭月娥（香港政府トップ行政長官）「香港政府は条例の改正案を正式に撤回し、完全に市民の疑いを解消します。」</p> <p>ナレ「日本時間午後7時頃、急遽テレビ会見を行った香港政府トップ林鄭月娥行政庁韓、容疑者の身柄を中国本土に引き渡せるようにするいわゆる逃亡犯条例の改正案について正式に撤回を表明しました。」</p> <p>"デモ「撤回、撤回。」</p> <p>ナレ「三ヶ月近く続く抗議デモ、6月11日には1997年の香港返還以降最大の200万人近くが参加、7月には過激化した一部の若者が香港の国会に当たる立法会に突入、破壊行為を繰り返しました。林鄭月娥長官は6月に改正案を廃案とする方針を表明、7月には」</p> <p>林鄭月娥行政長官（7月9日）「改正案は死んだ。」</p> <p>ナレ「と述べました。しかし、撤回を明言しなかったため抗議デモは続きました。会見では中国政府の言いなりでは、と追及される場面も。」</p> <p>"記者（先月13日）「法案を撤回しないよう、あなたは北京から手足を縛られているのか。」</p> <p>林鄭月娥行政長官（先月13日）「わたしたちはこの危機を乗り越えることがまだできます。」</p> <p>記者（先月13日）「あなたは法案を撤回する権限があるのか？」</p>		



司会者（先月 13 日）「もうその質問には答えています。」

記者（先月 13 日）「質問に答えていません。」

ナレ「こうした中での突然の撤回発表、背景には中国政府の意思があると専門家は指摘します。」 "

倉田徹（立教大学教授、香港政治）「今年の 10 月 1 日は中国の建国 70 周年の記念すべき国慶節ということになりますね、その日に香港で非常に多くの人が中国政府に対する不満を訴えるようですこれは中国にとって国際的に非常にイメージが悪い、香港にはまだ高度な自治がある、一国二制度は健全である、ということをもあ中国政府は特に国際社会に向けて示さなくてはいけないという意志があるように思いますね。」

"ナレ「また、抗議する香港市民は逃亡犯条例の改正案の撤回だけではなく、警察の暴力行為の検証や普通選挙の実現など 5 つの要求を掲げています（残り 2 つの「デモ参加者の釈放」、「デモの『暴動』認定取り消し」もテロップで表示）。デモは今後も続くのでしょうか。民主派団体のメンバー黄之鋒氏は」

黄之鋒（民主派リーダー）「デモは続きます、香港人は民主と自由を得るまで止まりません。」

ナレ「民主の女神と呼ばれる周庭さんは。」

小川彩佳「撤回を受けて今、どういうふうを受け止めていらっしゃいますか？」

周庭（"民主の女神"）「(デモ開始から) 3 ヶ月が立ってなくなった人までいて、今更撤回を言うのはおそすぎる、これからも引き続き、穏健的な手段、そして急進的な手段を使って、4 つの要求を求めてそして政治的な弾圧を反抗していきたいと思います。」 "

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「4 つの要求という話がありましたけれども、こちらがその抗議する市民の 5 つの要求なんですが、周庭さんに先月中旬にお話を伺った際にはもう既に逃亡犯条例の撤回というのは 5 つの要求の一つに過ぎない、というふうに語っていたんですね、今回の撤回は周さんたちがデモを続けるかどうかという判断には全く響いていない様子でした、ただこのタイミングでこの条例撤回を表明した、そのこの当局の狙いというのは星さん、どこにあるのでしょうか。」

星浩「まず 1 つはですね、その経済損失を心配するビジネス界があるですね、ビジネス界からするとこの辺でちょっとその運動を少し和らげたらどうだろう、という意見があつてそのへんに勢いが弱まるような狙いだと思うんですね。」

小川彩佳「アピールする狙い」

星浩「ただ実際にはなかなかそうはいかないと思います、もう一つはですね、林鄭長官はその傀儡だと見られているわけですが、今回はいや、林鄭長官の独自の判断なんですよということをアピールするわけで香港にちゃんと自治があるんですよというのを内外に見せるということなんですが、これもまあその額面通りに信じる人は殆どいないでしょう、ですからむしろ今回の撤回はですね、市民の動きを逆に勢いづけるという結果になるような気がしますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 314 秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

・ 日露首脳会談：結論→

スタジオで小川キャスターが「ロシアを訪れている安倍総理は明日、プーチン大統領との会談に臨みます。通算 27 回目ということになります、この首脳会談で北方領土問題の解決を含む平和条約の締結交渉は進むんでし

ようか。」とコメントし、それに続く形で以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「日本のアマチュア選手が相撲をとっている相手はロシア人選手、ロシア、ウラジオストクで開かれている国際会議、東方経済フォーラムのイベントの一つです。そのウラジオストクに今日午後、安倍総理も到着しました。ちょうど一年前の東方経済フォーラム。プーチン大統領からこんな発言が飛び出しました。」

プーチン大統領（去年 9 月）「平和条約を締結しましょう、今すぐでなくとも年末までに、一切の前提条件なしで。」

ナレ「日本はロシアとの平和条約を北方領土の返還を前提に進めてきましたが、プーチン大統領は前提条件なしに平和条約の締結を提案したのです、その二ヶ月後には。」

安倍総理（去年 9 月、シンガポール）「1956 年、共同宣言を基礎として、平和条約交渉を加速させる。」

ナレ「1956 年に結ばれた日ソ共同宣言は、まず平和条約を締結し、その後、4 島全てではなく、歯舞と色丹の二島のみを引き渡すという内容です、しかしそれ以降もいくつもの合意が、1993 年の東京宣言を始めとして、4 島の帰属問題の解決が必要との日本側の立場の確認を積み上げてきました。そんな中、二島だけに触れた 60 年以上も前の合意を基礎とする交渉が始まったのです、さらに。」

プーチン大統領（去年 11 月、シンガポール）「日ソ共同宣言には二島を引き渡す用意があると書かれているが、その条件や主権がどちらに属すのかについては書かれていない。」

ナレ「日本側の行政権や法律が及ばない主権が伴わない引き渡しも示唆したのです。4 島なのか 2 島なのか、それとも。」

"江田憲司（立憲民主会派衆院議員、去年 2 月）「4 島帰ってくるんですか、私はもう完全に 2 島のみ返還にかじを切ったと思っている。しかしそれすら危ぶまれているというのが現状ではないですか。」

安倍総理（去年 2 月）「4 島における共同経済活動実現に向けた取り組みを今、進めています。そういう新しいアプローチを進めていきたい。」 "

ナレ「日本側は 6 月の会談で大筋合意を目指しましたが実現には至らず、一方のロシア側は先月メドベージェフ首相が択捉島を視察するなど北方四島の実効支配を強めています。支持者に向けたパフォーマンスに余念がないプーチン大統領、しかし国内では大規模なデモが相次ぐなど支持は盤石ではなく、日本に簡単に譲歩するとは思えません。出発の直前、安倍総理は。」

安倍総理「平和条約交渉を次の次元へと進めていくためにですね、腹を割ってプーチン大統領と話し合いたいと考えています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「次の次元に進めると改めて総理その意気込みを語っていましたがけれども、ただこの一年、安倍総理の発言を効いてみましても、北方領土の前進に期待を抱かせながらも実際はロシア側にこう、押し込まれている、逆に押し込まれている印象すら受けるんですけれども、」

星浩「そうですね、まあ実際何が起きたかといいますと北方領土四島あるんですけれども、1956 年の共同宣言に基づいて話をしましょう、と。歯舞色丹二島プラス実際には共同経済活動、まあ二島プラスアルファでどうだ、と、言うことなんですね、要求水準を下げたわけです。で、まあプーチン大統領との間で一気呵成に合意にこぎつけようと思ったんですが、ロシア側は実はその合意には至らずということだったんですね。」

小川彩佳「うーん、なかなかこの領土問題が前に進まないという中で。」

星浩「この間の経緯はもう国民にはきちんと説明されていないわけですね。」

小川彩佳「そうですね、伝わっていないという印象がありますね。」

星浩「要求水準を下げたというのは実は深刻で例えば安倍政権の次の政権が四島を返してくれと言ったとしてもですね、ロシア側はいやその二島プラスアルファと言ったじゃないかっていうようにおそらく聞く耳を持たないということになってしまうんですね。」

小川彩佳「そういった中で今回の首脳会談でも共同経済活動を一つアピールポイントにせざるを得ないというところがある、と。」

星浩「まあ明日の会談ではそういうことになるでしょうが、共同経済活動も実は領土問題、主権の問題と切っても切り離せない問題なんですね、例えば商社マンが北方領土で活動をして交通事故を起こした時、どちらの法律で裁くんだと、ロシア側は絶対ロシアの法律で裁くといいますよね、それはロシアの主権を認めるということになりますので、非常に難しい問題なんですね、ですから領土問題を置いて、共同経済活動でお茶を濁すということは無理なんです、やっぱりその主権というのは足して2で割れないんだということはしっかりと考えてもらいたいと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 366 秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

・イギリス議会：結論→特に問題なし

小川キャスターの「さて、変わりました、こちらは現在のイギリス議会です、そのナマの映像なんですけれども来月末に迫りました EU からの離脱をさらに延期する法案の採決がこのあと行われます。」というコメントに対し山本キャスターが「ジョンソン首相はもし可決されれば、解散総選挙に打って出るとしてしまっていて、イギリスの進む道、再び混沌としています。」と応えた後に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"デモ「暴走をやめろ！ 民主主義を守れ！」

ナレ「来月末に迫った EU からの離脱期限、賛成派と反対派がそれぞれ声を上げました。」

ナレ「イギリス議会では野党が提出した来月末に EU から合意なき離脱をすることを避ける法案の審議が行われます。これに先立ち議会では与野党による激しい攻防が展開されました。」

ジョンソン首相「イギリスは 10 月 31 日に EU から離脱します。それを唯一阻んでいるのが労働党党首が提案した降伏法案です。」

コービン党首（野党労働党）「首相は就任後 6 週間、離脱合意にこぎつけると約束してきたが、前任者になる新たな離脱案を全く出せていない、彼には新しい提案もなければ、権限もなく、過半数も持っていない。」

議長「静粛に、首相の発言が聞き取れません。皆さん落ち着いて、この先まだまだ長いですから」

"ナレ「この法案を巡っては昨日。」

議長「賛成多数、賛成多数により可決。」

ナレ「合意なき離脱も辞さない構えのジョンソン首相、しかし議会では与党保守党から 27 人が造反し、この法案を審議することが決まりました。合意なき離脱は EU との交渉カードとしてとっておくべきだとするジョンソン首相、もし法案が可決された場合、解散総選挙の実施を求める構えです。」

ジョンソン首相「選挙はしたくないが、あす（4日）議会がこの法案を可決して政府の交渉を止め、意味もなくまた離脱を遅らせるようなら選挙で解決する他ありません。」

コービン党首「首相が選挙を求めるのは構わないが、我々の法案を通して合意なき離脱を排除するのが先です。」  
ナレ「来月末の離脱を公約に掲げ、今年7月就任したジョンソン首相。選挙も辞さない強気の姿勢を見せる背景には堅調な保守党の支持率があります。前のメイ政権で落ち込んだ保守党の支持率は現在35%まで回復、最大野党の労働党を10ポイントほど上回っているため、選挙になれば造反議員を公認から外した上で安定多数を得られる可能性もあります、ただ、合意なき離脱を阻止する法案が可決され、ジョンソン首相が解散総選挙に持ち込むためには下院の3分の2の賛成が必要です。3分の2に達せず選挙がなく来月末までにEUとの新たな合意を得られない場合、EUが受け入れれば離脱期限が延長される可能性が出てきています。」

VTRを受けて中継との間で以下に朱記したやり取りが繰り返された。

小川彩佳「ここで、イギリス議会前にいるアキバ記者に聞きます、アキバさんジョンソン首相は総選挙を求めるといふことですが、これはどういう狙いがあるのでしょうか。」

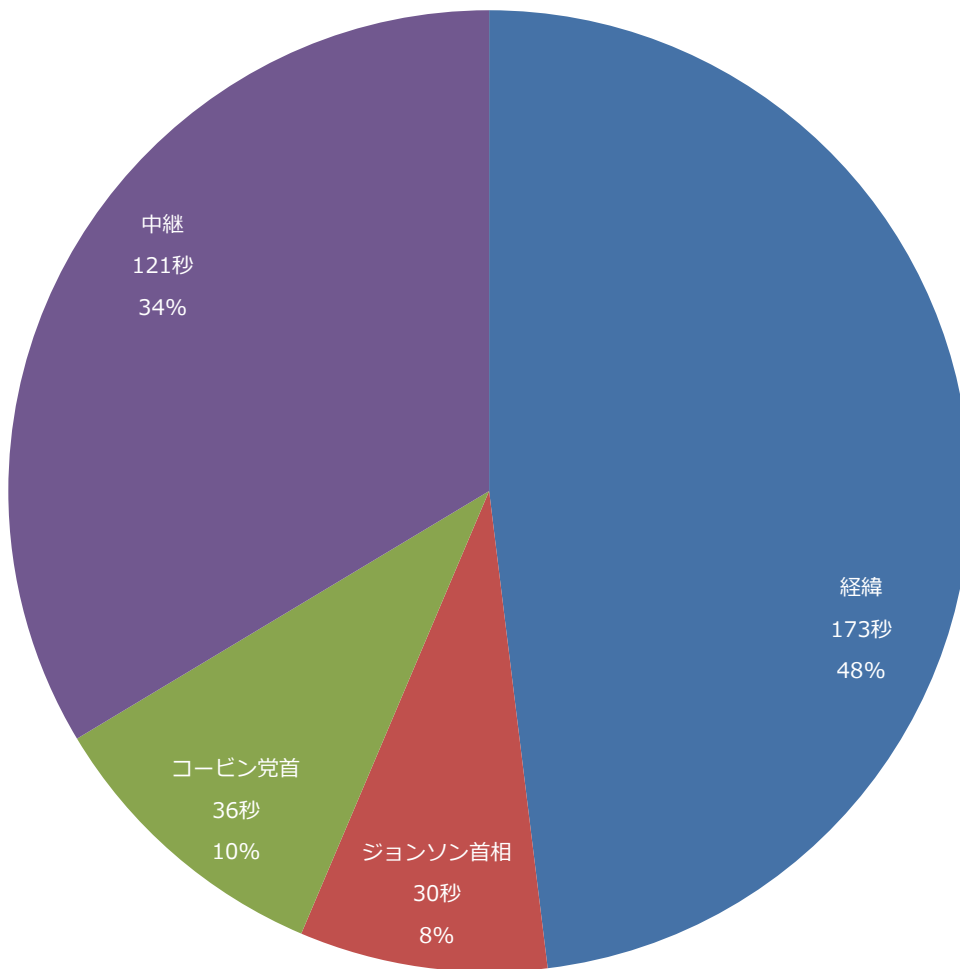
アキバ記者(報告)「はい、前任のメイ首相が躓いた最大の要因は議会でギリギリの多数しかなかったことでした、ジョンソン首相はその議会の状況をそのまま引き継いだけではなく2議席減らしてしまっていて、もはや多数を保てない状況です、しかも与党内からは離脱が常に、ああ、すみません。造反が常にくすぶっています、なので、この状況ではEU離脱はもとより、国内の他の課題についてもですね、議会運営に困ることはもう間違いありません、なので、いま選挙に打って出て、これは離脱の意思を示した国民とそれを妨害しようとする抵抗勢力というキャンペーンを張れば十分勝てるという目算があるんだと思われまして。」

小川彩佳「ただ、解散総選挙には下院の3分の2以上の賛成が必要ということになりますけれどもその見通しはどうなっていますでしょうか。」

アキバ記者「はい、このまますぐに解散総選挙がこのあと決まるということにはならなさそうです。ジョンソン首相は来月15日の選挙を提案しているんですけども野党側はあくまでもこれから審議される10月31日に合意なき離脱を阻止するための法案、この法案の成立を優先するという考えです、野党側としてはこれまでジョンソン首相が度々、本当に度々約束してきた10月31日の離脱というのを失敗させたあと、つまりそのジョンソン首相の力を削いだあとに選挙をやったほうが得策だと考えているでしょう。ただそうなると離脱事態はどうなるんだということになりますけれどもそれについてはですね、残念ながら今の所まだはっきりとは見えてきません。」

小川彩佳「まさに今、かけひき、せめぎあいのさなかということになりますね。」

このトピックに当てられた時間は360秒だった。経緯を伝えた場面、ジョンソン首相の発言、コービン党首の発言をそれぞれ取り上げた場面、スタジオと中継とのやり取りの場面についての時間配分及び比率は以下の通りであった。



放送法上は特に問題はみられなかった。

・内閣改造：結論→特に問題なし

内閣改造についてナレーションによって「11日に行われる自民党役員人事を巡って安倍総理は処遇が焦点となっていた二階幹事長を留任させる方針を固めました。また、岸田政調会長も留任させる見通しです、二階氏を巡っては80歳と高齢であることなどから交代論もでていましたが安倍総理は続投をさせることで党内の基盤の安定を図ったものとみられます。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・イギリス議会

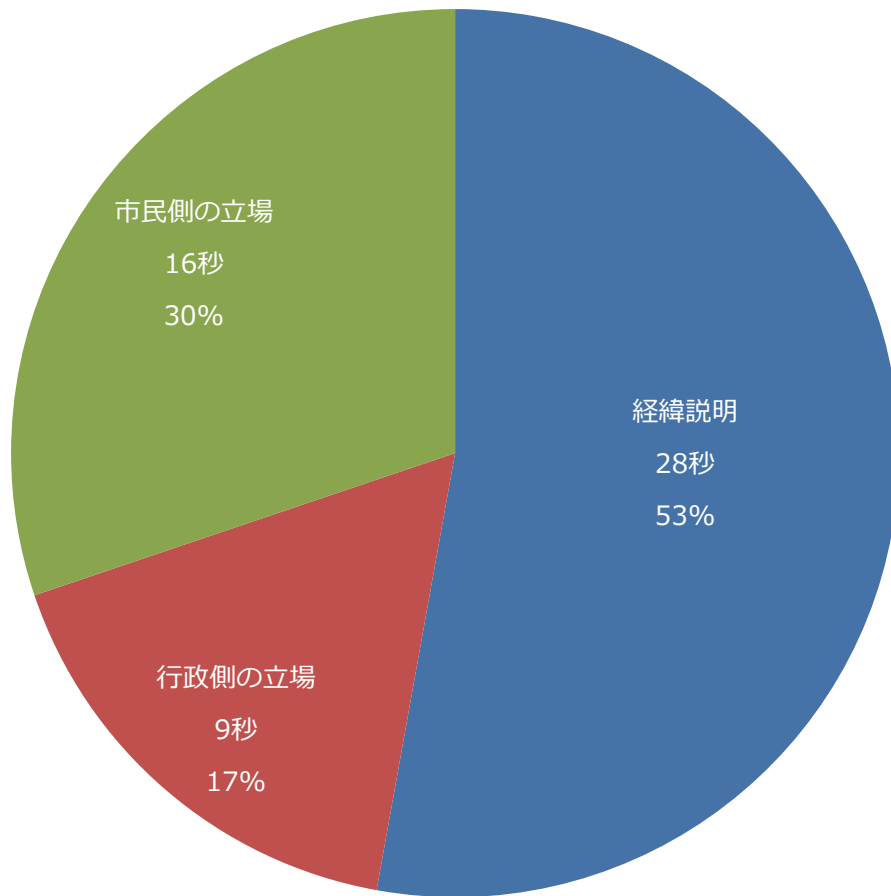
ジョンソン首相について「前任のメイ首相が躓いた最大の要因は議会でギリギリの多数しかなかったことでした、ジョンソン首相はその議会の状況をそのまま引き継いただけではなく2議席減らしてしまして、もはや多数を保てない状況」と伝えられていたが、これはつまり、ジョンソン首相は保守党内の党首選挙を制したという理由でメイ首相の後任の首相になっているということであり、そこには国民からの信頼がないということである。

一昔前の第一次安倍政権や福田政権、麻生政権において言われていたのが「前政権から議席と首相職を引き継いだのであって選挙の洗礼を受けていない」という指摘であった。もちろんそうした指摘は正しいのだが、それは日本のように解散が首相の専権事項として運用されているからこそその話であろう。また、「与党内からは造反が常にくすぶっています」とも伝えられているが、そもそもジョンソン氏はEUからの離脱を掲げて保守党党首に就任したわけでその党首が最も重要視する政策に対して造反を仕掛けるような議員が出るほど党内ガバナンスが効かない、というのも解散権が著しく成約されているからであろう。

日本でも、政権が強くなると首相の解散権を制限するべきという声上がるが、解散権を制限すると今度は首相が政党内にガバナンスを効かせられなくなり、結果決められない政治や党首の再重要政策が党内政局でつぶされるという事態を招きかねないということを、今のイギリスの事例は教えてくれているのではなかろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送： 2019 年 9 月 5 日
出演者：【キャスター】 小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕		
検証テーマ： 西川社長に不正疑惑、三原じゅん子議員初入閣、香港問題、EU 離脱問題、日ロ首脳会談		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京急電鉄トラック衝突事故</li> <li>・台風 13 号 被害の様子</li> <li>・西川社長に不正疑惑</li> <li>・newstories             <ul style="list-style-type: none"> <li>・目黒虐待</li> <li>・錦戸さんジャニーズを退所</li> <li>・三原じゅん子議員初入閣</li> <li>・香港問題</li> <li>・EU 離脱問題</li> </ul> </li> <li>・日ロ首脳会談</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・#異論反論 objection 「国会議員の育休」</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西川社長に不正疑惑→結論：放送法第四条の見地から問題なし。              今回は日産の西川社長に不正疑惑が持ち上がったことが報じられた今トピックに充てられた報道時間は 313 秒で、経緯説明が報道の中心を占めていた。              今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。</li> <li>・三原じゅん子議員初入閣→結論：放送法第四条の見地から問題なし。              今回は来週に迫った安倍内閣の組閣で、三原じゅん子氏と複数名の議員の入閣について方向性が報じられた。今トピックに充てられた報道時間は 36 秒で、経緯説明のみの内容であった。              今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。</li> <li>・香港問題→結論：他の放送日との比較が必要。              今回は過熱する香港のデモ運動について、行政長官が対話を呼びかけたことに対しての市民側の反応が代表的立場の周庭氏の意見という形で報じられた。今トピックに充てられた報道時間は 53 秒で、経緯説明・行政側の立場・市民の立場に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</li> </ul>		



報道の内容は以下の通り。

林鄭月娥行政長官「正式に改正案を撤回し、市民たちの不安を完全に解消します。」

ナレーター「逃亡犯条例改正案の撤回表明から一夜明け、香港の林鄭月娥行政長官が改めて会見し、市民に対話を呼びかけました。これに対して、周庭さんは。」

周庭氏「会話したいとか、撤回すると言いながら、一方でたくさんの方が政府に弾圧されて警察に殴られて、政府は本当に対話したいのかと逆に聞きたい。」

ナレーター「15日にも政府に抗議する新たなデモが計画されていて、依然として終息の見通しは立っていません。」

時間配分を見ると、市民側の立場に配分が偏っていることが分かる。しかし、これは報道時間の短さから生まれた割合の問題であり、大きな問題とは感じられなかった。ただし、データの的に問題があると指摘される必要があるとは考える。これは他の放送日でこの問題をどのように取り扱っているかを比較することで放送法的に問題があるかを判断されなくてはならないものとする。

したがって、放送法第四条の見地からの問題点とはならないが、他の放送との比較が必要と考えられる。



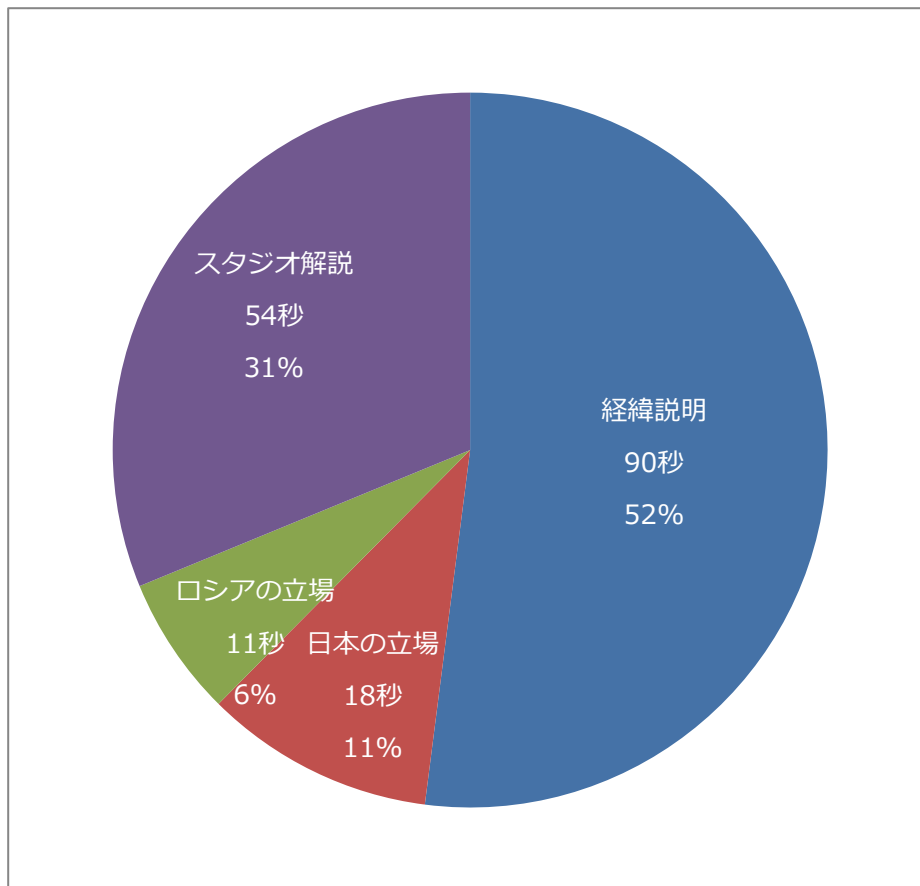
・ EU 離脱問題→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回はイギリスの EU 離脱問題で、下院が「合意なき離脱」を禁止する法案を成立させたことが報じられた。これに対しジョンソン首相は議会解散を申し出たが、却下されたことも併せて伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 29 秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・ 日ロ首脳会談→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は通算 27 回目の日ロ首脳会談が開かれ、平和条約交渉が行われたことが報じられた。今トピックに充てられた報道時間は 173 秒で、経緯説明・日本の立場・ロシアの立場・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

小川「ロシアを訪問中の安倍総理はプーチン大統領との 27 回目の会談に臨みました。北方領土問題を含む平和条約交渉に進展はあったのでしょうか。」

ナレーター「画面に映るのは北方領土の色丹島に整備された水産加工工場の従業員。今日未明、この工場の稼働式典にプーチン大統領がビデオ映像で参加しました。」

プーチン大統領「おめでとう。成功を祈ります。とても興味深く、利益の出る仕事になると確信しています。」

ナレーター「この日の午後に安倍総理との会談を控えていたプーチン大統領。その直前にあえて北方領土の実効支配をアピールした形です。ロシアのウラジオストクで行われた通算 27 回目となる日ロ首脳会談。」

安倍首相「今日は日ロ平和条約の問題あるいは2国間について、また国際的な課題について意見交換を行いたいと思う。未来に向けて議論をしていきたいと思う。」

ナレーター「停滞する北方領土問題を含む平和条約交渉未来志向で作業を進めていくことで一致。一方でプーチン大統領は『今回は現在のことを議論するだけではなくて、今後の共同ステップに関しても議論したい。』と述べました。日本側はプーチン大統領が色丹島の式典に参加したことについて、今後、外交ルートを通じてロシア側に抗議をするということです。」

小川「ロシアについてはプーチン大統領と腹を割って話したいと意気込みを語っていた安倍首相ですが、肝心の北方領土問題については腹を割って話すことができたのでしょうか。」

星「日本政府の高官によりますと、今日の会談では北方領土問題については突っ込んだやり取りはなかったということです。日本側は歯舞・色丹プラス経済共同活動というところまで譲歩しているんですけども、ロシア側は2島でさえ返還する気はさらさらないということで、今日もプーチンさんが色丹島の式典に対してビデオ参加するというのは明らかに露骨な実効支配の表れですよ。日本側は今回2島返還でも進まなかったということですから、ゼロに戻って抜本的な見直しをした方が良いと思いますね。」

時間配分を見ると、ロシアの立場に比べて日本の立場に時間が割かれていることが分かる。ただし、報道の内容を見ると、安倍総理の発言が日本の立場に該当する部分であるが、ことさらに日本の立場に立った主張とは感じられない。したがって、この点は放送法第四条の見地から問題がないと判断した。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし。

#### 検証者所感

##### ・日ロ首脳会談

日ロ首脳会談に関するスタジオ解説にあたる部分のやり取りで以下のようにやり取りがあった。

小川「ロシアについてはプーチン大統領と腹を割って話したいと意気込みを語っていた安倍首相ですが、肝心の北方領土問題については腹を割って話すことができたのでしょうか。」

星「日本政府の高官によりますと、今日の会談では北方領土問題については突っ込んだやり取りはなかったということです。日本側は歯舞・色丹プラス経済共同活動というところまで譲歩しているんですけども、ロシア側は2島でさえ返還する気はさらさらないということで、今日もプーチンさんが色丹島の式典に対してビデオ参加するというのは明らかに露骨な実効支配の表れですよ。日本側は今回2島返還でも進まなかったということですから、ゼロに戻って抜本的な見直しをした方が良いと思いますね。」

小川キャスターの質問は、明らかに進展がないと分かったうえであえて質問しているという受け取り方では、非常に意地の悪い質問と受け止められ、視聴者という立場からはある種の誘導が感じられたが、あくまでも受け止め方の問題であるため所感に留めておくべきと判断された。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

また、星キャスターの発言も二島返還が進まないからゼロベースでという議論はこれまでの積み重ねを全て無に帰する発言であると感じられた。平和条約交渉は北方領土問題のみの問題ではなく、両国間の様々な問題を含んだ問題であることを考えると、これまでの積み重ねは非常に重要なものであることを伝えるうえでは不適切な発言と言わざるを得ないと感じられた。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年9月6日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：韓国大統領側近の疑惑追及、メルケル独首相「香港市民の自由保障を」、待機児童の総数過去最少		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京急線車両とトラックが衝突。衝突前に京急電鉄職員がトラブルを確認</li> <li>・韓国法相候補の疑惑を追及する聴聞会が開かれる</li> <li>・京アニ新作公開、遺族の思い</li> <li>・5歳の女の子を衰弱死させた母親、被告人質問で「どう償えばいいのか」と涙ながらに語る</li> <li>・メルケル独首相「香港市民の自由保障を」</li> <li>・JR鹿児島線のホームに乗用車が転落、けが人はなし</li> <li>・金曜＝第三惑星 「松本白鷗、「人生」と「狂気」</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・北海道震度7地震から1年</li> <li>・待機児童の総数、過去最少に</li> <li>・ジンバブエのムガベ前大統領が死去</li> <li>・天気予報</li> <li>・速報：韓国大統領側近のチョ氏の妻が起訴</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国大統領側近の疑惑追及→結論：問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「韓国の文在寅大統領が渦中の側近を予定通り法相に任命するかどうか、その判断を左右するヤマ場となりました。国会では家族の疑惑をめぐり激しい追及を受けてきた側近・チョグク氏への聴聞がいまも続いています。」というコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>無所属議員「こんな非難や疑惑を受けながらも法相になりたいんですか？」</p> <p>チョグク氏「個人的には一般人に戻って家族の世話がしたいです。でも私には公職としての最後の使命があると考え、苦痛をこらえてこの席に出席しています」</p> <p>ナレーター「文在寅大統領の側近で次の法相候補に指名されているチョグク氏、連日娘の不正入学や家族ぐるみの不透明な投資などの疑惑追及に晒されています。今日は法相への適性を国会で審査する人事聴聞会が開かれました。」</p> <p>野党議員「大学の総長に直接電話したのですか？」</p> <p>チョ氏「私の妻が…最後に私が妻から電話を替わって」</p> <p>ナレーター「今週月曜、11時間に及ぶ釈明の記者会見を行い、韓国世論から一定の評価を受けたチョ氏、しかしその後新たに娘が履歴書を偽造していた疑惑が浮上し、調査ではチョ氏の法相就任に反対が賛成を上回っています。」</p>		

ソウル市民 A「反対に近い。様々な疑惑が出ているが、明確に解消されていない部分がある」

ソウル市民 B「法務長官としての能力を判断すべきなのに、それ以外のことばかり掘り返している。法務長官としての資質に特に問題があるとは思わない」

ナレーター「きょうの聴聞会でも、野党側は娘の履歴書偽造疑惑を集中的に追求しました。」

野党議員「仮に偽造したとすれば、その事実でも十分に重大な犯罪となるという点は認めますね」

チョ氏「犯罪に該当すると思います」

ナレーター「質問を淡々と交わし、不正への関与を否定したチョ氏、野党も攻めきれない状況に大統領府の関係者は」

大統領府関係者「すでに出ている疑惑以上のものは出ていない。落ち着いて聴聞会を見ている」

ナレーター「文政権はチョ氏をこのまま法相にしても、支持率には大きな影響はない、と見ていて、明日以降文大統領が正式に任命に踏み切る構えです」

VTR を受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「こちら人事聴聞会の今の様子です。生の映像です。こうして今も続いているようですが、星さんこの結果に関わらず文大統領はチョ氏の起用を押し切ることになるのでしょうか」

星キャスター「最終的には世論の動向を見てということになりますが、ここで同じようなことが日本やアメリカで起きたらということをお考えすると、たとえば日本で東京地検特捜部が関連の疑惑を捜査している人を法務大臣に起用するのはとても考えられないですね。万が一起用しても国会が持たないですね。一方、アメリカは議会の上院が閣僚の最終的な承認する権限があり、承認されないと閣僚に就けないので、おそらくこういうケースでは無理だと思うんですね。結局、韓国では大統領の権限がものすごい強いのである程度こういうことも通じるというわけですが、ちょっと権限が強すぎて、議会のチェックが行き届かないのかなど。韓国の方々には制度上の問題点についても考えていただきたい」

このトピックに当てられた時間は 252 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・メルケル独首相「香港市民の自由保障を」：結論→特に問題なし

ナレーションによって「ドイツのメルケル首相は訪問先の中国で李克強首相と共同会見を行い、抗議活動が続く香港について市民の権利と自由は保障されなければならないと強調しました。また、問題は対話によってのみ解決できるとして市民に対しても対話の重要性を訴えました。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は秒で放送法上は特に問題はみられなかった。

・待機児童の総数、過去最少→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「厚労省は、保育園に入りたくても入れない待機児童が調査を始めて最も少ない 1 万 6722 人になったと発表しました。一方首都圏や都市部での待機児童は依然として多く全体の 6 割を占めているということです」

このトピックに当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られませんでした。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし